

① 計画期間

5 年（令和 7 年度～令和11年度）

② 策定の背景・理由

現 状

全地域（市町村）へ主食食品を供給できない都道府県学校給食会が存在

今 後

児童・生徒数の減に伴い学校給食食数が減少
 主食の委託加工工場の経営環境が厳しさを増す
 供給できない地域が一層拡大することが危惧される

対 策

持続可能で強靱なサプライチェーンを構築
 課題に対する中長期的視点に立ち戦略的に取組

③ 内容

重点課題

- ①学校給食用食品の安定供給
- ②学校給食用食品の安全確保と衛生管理
- ③学校給食等の普及啓発と食育の推進
- ④経営基盤の強化
- ⑤組織力の強化等

経営の
方向性

- ①安定供給を維持するためのサプライチェーンを強化 など
- ②食品販売者としての責務を果たすため、適切な検査を実施 など
- ③学校給食及び食育を取り巻く社会的なニーズを踏まえた
主体的事業を展開 など
- ④現行の経営資源を活かした新たな事業展開を模索 など
- ⑤人材育成及び組織マネジメントを充実 など